

# 信頼。



## CONTACT INFORMATION

問合せ先

保健師に関する問合せ先

健康福祉局 地域福祉保健部 福祉保健課 TEL.045-671-4069 FAX.045-664-3622

採用に関する問合せ先

横浜市人事委員会事務局調査任用部任用課 TEL.045-671-3347 FAX.045-641-2757

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

横浜市 始動

検索

PCサイト



【横浜市人事委員会事務局 公式Twitter】 [@yokohama\\_ninyo](https://twitter.com/yokohama_ninyo)



横浜市は、370万人を超える市民の皆様が暮らす、日本最大の基礎自治体です。150年以上の歴史があり、18の行政区は、緑や川・港・海など自然豊かで、風情のある建築物が多いなどそれぞれの地域特性があります。「市町村保健センター」と「保健所」の機能を併せ持つ政令指定都市・横浜市での保健師活動は、市民の皆様に最も近い地域で健康を守る仕事から、「横浜市子ども子育て支援事業計画」「健康横浜21」や「よこはま地域包括ケア計画」など、横浜市全体の施策の策定まで、大変幅広く、多岐にわたります。

今、大都市・横浜は、少子高齢化の進展はもちろん、社会的孤立やダブルケア、8050問題、虐待、健康格差など、複合的な課題が顕在化し、行政に求められるニーズも、一層多様化しています。

いかなる時も、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域社会を実現していく横浜市の保健師としての仕事は、やりがいに溢れています。新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態においても、保健師が、日々、まさに公衆衛生の最前線で、市民の皆様の命と暮らしを支えています。

組織を動かすのは人の力であり、人は人との出会いで学び、成長していきます。横浜市は、職員一人ひとりがやりがいをもって仕事に取り組めるよう、経験豊富な上司や先輩からのサポート、同期とのつながりを大切に、OJTを充実させて、職員の成長を後押ししています。

皆さんが活躍できるフィールドは大きく広がっています。ぜひ御一緒に、健康で活力あふれる横浜市を創り上げていきましょう。

## CONTENTS

- 03 横浜市保健師のめざす姿・横浜市保健師の特色
- 04 主な配属先と仕事・VOICE 01
- 05 人材育成のしくみ・VOICE 02
- 06 保健師業務の実際
- 07 先輩からのメッセージ・専門職としてのキャリア形成

当パンフレットに記載されている内容は、令和3年1月現在のものです。

## 横浜市保健師のめざす姿

横浜市求められる職員像は、「ヨコハマを愛し、市民に信頼され、自ら考え行動する職員」です。

加えて、横浜市保健師に求められる職員像を「理念」として位置づけ、そのめざす姿を明確にしています。

そして、横浜市保健師として大切にしたい言葉として、「信頼」を掲げ、日々の業務に取り組んでいます。

### 横浜市保健師の理念

健康と生命を守る視点で病気のケアから発生予防まで取り組み、健康な地域社会の実現と市民の健康・福祉の向上に取り組みます。

**信頼** 私たちは、市民からも組織からも信頼される保健師を目指します。

## 横浜市保健師の特色

### 政令指定都市ならではの保健活動

一つの基礎自治体で、母子や高齢者保健などを担う「市町村保健センター」と、感染症対応や障害者支援、難病患者支援などを担う「保健所」の機能があり、多様な経験ができます。健康格差、孤立や虐待など大都市ならではの課題にも多職種や関係機関と連携し、信頼関係を大切に取り組んでいます。

### 約500人の保健師が仲間

職員、キャリアを積んだ専任職、係長、課長、部長など、約500人の保健師が様々な部署で活躍しています。同期の仲間や男性保健師も多く、様々な経験を分かち合うことができます。子育てや介護などのライフイベントでは、様々な制度を利用しながら仲間と助け合い、働ける環境です。

### 地域特性に応じた保健活動

業務分担制と地区分担制を併用し、地域特性に応じた保健活動をしています。『個性ある区づくり推進費』という横浜市独自の予算を活用し、住民との協働による企画や取組も可能です。また、保健師の分野横断的な連携の場として「看護職会議」を開催し、部門を越えて課題を共有し改善策を検討する場として活用しています。

### 感染症対策

感染症の蔓延を防ぐため、平時から個人防護具の着脱訓練等を行い、健康危機管理対策を行っています。



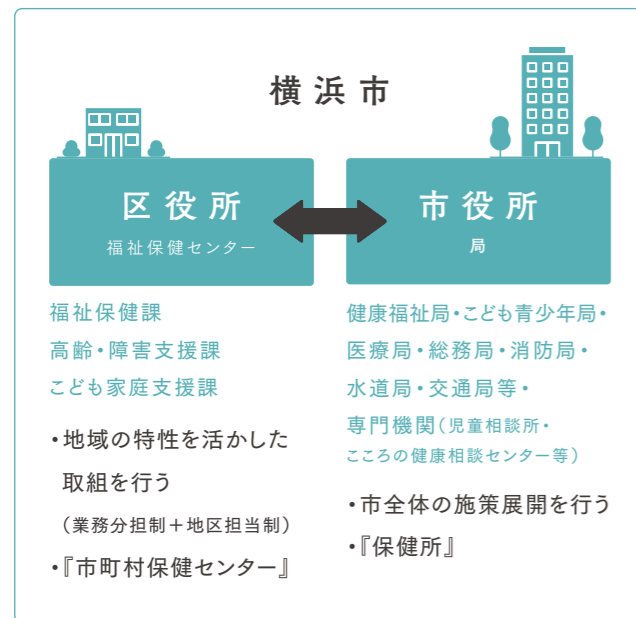
### 災害時保健活動

災害時、「保健活動グループ」として、所属を超えて活動を行います。他自治体保健師と協力し、被災地での保健活動を支援します。



## 主な配属先と仕事

配属先は、地域の特性を活かした取り組みを行う「区役所」と市全体の施策立案を行う「市役所」があり、個別支援から施策に関わる仕事など幅広い経験ができます。また、児童相談所やこころの健康相談センター等への配属もあり、専門機関で保健活動を深めることもできます。



### 暮らしに密着『福祉保健センター』

#### 福祉保健課

事業企画担当：地域団体や住民との協働による地域福祉保健計画の推進や福祉保健に関する統計集約などを担います。健康づくり係：身近な地域での健康づくり活動の推進に加え、感染症対応などの健康危機管理も担います。

#### 高年齢・障害支援課

高齢者・障害者・難病患者への支援、介護や認知症の予防、虐待防止、地域包括ケアの推進等に取り組んでいます。

#### 子ども家庭支援課

地域の子育て家庭を対象とした乳幼児健診や家庭訪問等の母子保健事業、子育て支援事業、虐待防止等に取り組んでいます。

### 市全体の企画調整や施策立案『市役所』

#### 健康福祉局

健康づくり、健康危機管理、高齢者や障害者の福祉保健、地域福祉保健計画の策定などに取り組んでいます。

#### 子ども青少年局

安心して子どもを産み、健やかに子どもが育まれる地域社会を目指し、施策の立案や地域資源の創出に取り組んでいます。

#### 医療局

医療政策を一体的に推進し、医療機関や介護、福祉サービスとの調整機能を担います。

#### 総務局・消防局・水道局・交通局等

産業保健の観点から、職員の健康づくり・疾病予防に取り組んでいます。

#### 専門機関(児童相談所・こころの健康相談センター等)

専門機関として、子どもや養育者に関する様々な相談やこころの健康、依存症等の当事者・家族への支援に取り組んでいます。

## 人材育成のしくみ

### 安心して働き、成長できるたくさんのチャンス

採用後はトレーナー(新人育成を担当する先輩職員)を中心に職場内でサポートする体制があり、仕事の進め方や疑問・悩みを相談しながら業務を担当し、実施していくことができます。幅広い分野を経験した後は、責任職(管理職)として政策をつくりマネジメントを担う道や、専門性を極め、専任職(スペシャリスト)として進み道など、複数の昇任システムがあり、力を発揮するチャンスが広がっています。

### 能力向上のための研修体系

#### 01 行政職員として

公務員としての自覚を持ち、職位に応じた役割が果たせるように、基礎知識の習得やスキルアップに向けた様々な研修を行っています。

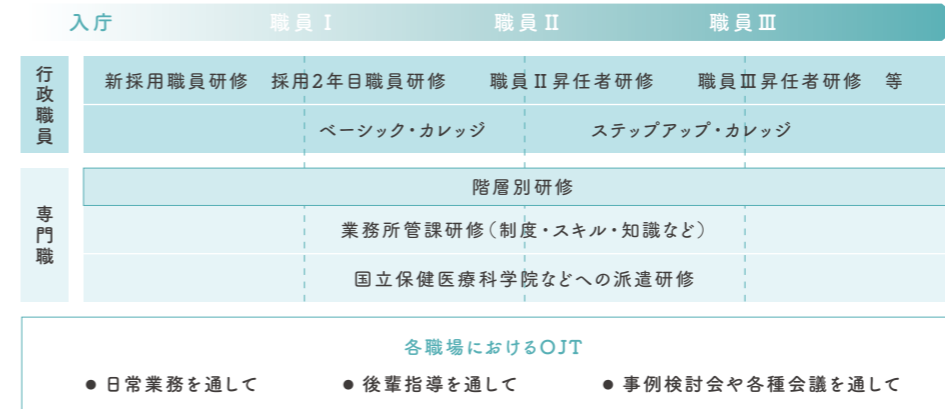
#### 02 専門職として

現場におけるOJT(On the Job Training)を基本としながら、経験年数に応じて様々な階層別の研修を行っています。OJTと研修を組み合わせ、日常業務の課題への取組方法を研修の中で学び、職場に戻って実践するという積み重ねの中で、専門職としての知識・技術が磨かれていきます。

#### 03 能力開発のためのしくみ

横浜市では保健師として身に付けて欲しい能力の指標「キャリアラダー」を定めています。キャリアラダーを活用することにより、自分の専門能力の獲得状況が分かるとともに、次のステップへの目標設定に役立ちます。その他、国の研修機関等への派遣研修、市独自の研究発表会、または大学院進学など、能力開発のためのメニューや制度を用意しています。

### 研修体系イメージ



階層別研修	
経験年数に応じて、専門職として基礎となる知識・技術を段階的に学ぶとともに、行政専門職として欠かすことのできない視点を学びます。	
階層	内容
1年目	個別・家族アセスメント・生活を見る視点
2年目	集団支援、地区活動
3年目	地域看護診断(地区カルテ活用)地域ケアシステム
5年目	保健事業の評価
10年目	保健事業を施策につなげる視点
職員Ⅲ	職員Ⅲの保健師の役割理解、福祉保健を取り巻く状況、後輩育成

保健師マインド

## VOICE 01



青木のえ子 AOKI Noeko  
子ども青少年局子ども福祉保健部  
北部児童相談所相談指導担当  
2015年度入庁

暮らしに寄り添う  
支援のために、学び続ける

職種を超えて相談できる雰囲気

高齢者や障害者、難病の方々への家庭訪問などの個別支援や地域包括支援センターと連携して認知症や介護予防に関する講座の企画等の地域支援をしています。職種を超えて相談できるので、多面から考えるよう心がけています。

住民の生の声を聴くことを大切に

長くその土地で生活してきたからこそその思いや価値観、地域の歴史を尊重したうえで、住民に寄り添いながら支援しています。ひとつの自治体でも区ごとに特徴が異なるため、様々な経験を積み、学び続けられる環境が魅力です。

宮下智葉 MIYASHITA Tomoha

戸塚区高年齢・障害支援課  
高年齢支援担当  
2018年度入庁

## VOICE 02



子どもたちの成長を感じられる仕事

関係機関と連携し、チームワークを大事に  
保健・医療的な視点を持ち、不適切な養育支援の初動対応を担っています。子どもの生命に直結する時もあり、悩むことばかりですが、チームワークを大事にしています。子どもたちの笑顔や成長を感じた時に、やっていたよかったです。

多様な経験・成長に繋がる職場

政令指定都市で様々な職場に勤める機会があり、保健師としてより多くの経験を積むところに魅力を感じました。経験豊富な先輩・上司があり、職種を越えて子どもや養育者の対応を相談できる環境が常にあり、自身の成長に繋がります。



WORK CONTENTS

保健師業務の実際

現在の業務

こども家庭支援課では、子どもたちが地域で健やかに育つための支援をしています。子どもの成長発達に関する個別支援や、乳幼児健診や健康教育などの集団指導について企画・運営などを行っています。他職種や関係機関と連携しながら、地域特性に応じた子育ての課題や個々のニーズに合わせた取り組みを進めています。多忙な中でも仕事の相談ができ、困っているときには助けてくれる先輩がいる職場です。

仕事の魅力

子育てに自信が持てず不安が強かった保護者が、相談を重ねることで徐々に自信を持ち、子育てを楽しみ、それを後輩ママたちに伝えていく姿を見たときには、この仕事をしていてよかったと思えました。職場では、対応に困ったことがあっても、相談しあい他職種とも連携して支援を考えられる環境があり心強いです。より良い支援ができるよう、研修や勉強会を通して切磋琢磨し、スキルアップを目指しています。



宮前佳奈

MIYAMAE Kana

青葉区  
こども家庭支援課  
子育て支援担当  
2019年度入庁

Daily schedule

- 8:30  
朝礼  
1日の流れや連絡事項の共有
- 10:00  
新生児訪問  
家庭訪問し赤ちゃんの成長発達の確認、子育ての助言
- 11:45  
昼休み  
午後の業務に応じて少し早めの休憩
- 12:45  
乳幼児健診  
成長発達の確認や育児相談、利用できる社会資源の紹介
- 15:30  
保護者への電話がけ  
電話相談の対応、訪問・面接記録の作成
- 17:15  
退庁  
帰宅後は、好きなテレビ番組をみて楽しんでいます。

VOICE OF STAFF MEMBERS

先輩からのメッセージ

幅広い視点をもった仕事が魅力

依存症を抱える方への支援を担当し、健やかに暮らすためには、「こころ」と「体」両方の健康に目を向けることが大切だと実感しています。個別支援から、普及啓発、施策立案まで幅広い視点をもった仕事ができることが魅力です。市民や関係機関の皆さんとの出会いや学びを大切に、行政保健師としてキャリアアップしていくことができます。



永田幸子 NAGATA Sachiko

健康福祉局 こころの健康相談センター  
2018年度入庁

CAREER PLANS

専門職としてのキャリア形成

地域とつながる責任職の姿に憧れて

責任職は多くの部署や職種とつながり広い視点をもって仕事をしている姿に憧れ、係長を目指しました。現在は、社会福祉職を中心とする職場にいます。職種による違いを学びながら、保健と福祉の連携を意識して取り組んでいます。

CAREER STEP

部署名はすべて当時のものです



朝倉崇

ASAKURA Takashi

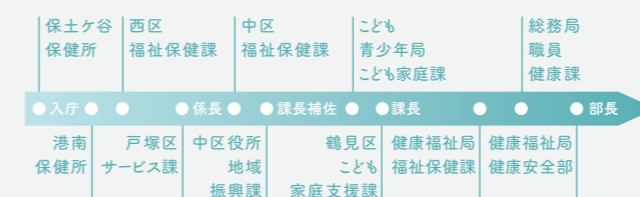
南区高齢・障害支援課  
障害者支援担当係長  
2014年度入庁

様々な経験を積み重ね、成長

子育てが一段落してから昇任試験を受験。ライフワークを大切にし、自分のタイミングで昇任試験を受けることができたのはよかったと思います。現在は、市民の声を聴き、保健政策に反映させていく役割の重みを実感しています。

CAREER STEP

部署名はすべて当時のものです



嘉代佐知子

KASHIRO Sachiko

健康福祉局  
健康安全部  
健康推進担当部長  
1985年度入庁